

今年も残すところあと1ヶ月。みなさん。来年はどうなりたいですか？

TOPICS

今月の練習予定

河毛先生の講評

GENERAL PAUSE

今月の練習予定

12月の練習予定です。（施設が使えることを前提としたスケジュールです。）

月	練習日	合奏の時間	曲目
12	5	19:00～	分奏 木管：練習室2 金管：男山公民館
	12	19:00～	合奏
	19	19:00～	分奏 木管：練習室2 金管：男山公民館
	26	19:00～	合奏
1	2		休み
	9	19:00～	合奏

12月の練習は、2回分奏をします。木管楽器の方は普段の練習と場所が変わりますのでご注意ください。

なお、次の練習曲の一覧です。

楽譜に書いてある音楽用語は今のうちに調べておいてください。

スペイン組曲 op.165 より「タンゴ」（Isaac Albeniz 明石出版）

憧れの街（南俊明）、Ode and Jubilation!（Gerald Sebesky）、Rhapsodic Episode（Charles Carter）、無敵の鷲（スーザ）、トトロメドレー（夏祭り積み残し）、ケセラセラ（ウインズスコア）、風になりたい（ウインズスコア）、レイダースマーチ（バンドジャーナル）、ビューティフルスマイル（ウインズスコア）

音の祭典 河毛先生の講評

音の祭典が終わりました。

今年の祭典はどうでしたか？

河毛先生からの講評を掲載します。

今年も大変お世話になりありがとうございました！

今年もまたみなさんにお会いできてとても嬉しく思っていました。

昨年よりも曲の難易度も上がり、これはまた合わせるのが大変だなと感じましたが、みなさん最後まで練習をしっかりとされて、難しいリズムやパッセージもかなり合わせられるところまで来て本番に臨めたのではないのでしょうか？

人数が多くなってやりやすくなった部分と、逆に合わせにくく(どのパートを聴きながら演奏するかわからなく)なった部分があったかと思います。

課題としては、リズムの難しい部分のアーティキュレーションの共有、テンポ(ビート)の共有と安定が出来ると良いですね。

あと場面場面での音色の変化がついていくとさらに表情豊かになると思います。

アンサンブルをしていく中で、なかなか日頃この大所帯で演奏することができず、音を混ぜると言う感覚がないかもしれませんが、この楽器とこの楽器の音色を混ぜるとこんな音がすると感覚で捉えて音色作りをしたいです。

リズムについて、トロンボーンの譜面ではほぼ見たことがない64分音符というものが木管に出て来たりしていました。16分音符の中に音を4つ入れる・・・頭では理解できてもなかなか演奏は容易ではありません。

でも、雰囲気だけで演奏をしないように、やはり小節の中でリズムを分解して、理解してから音を出す必要があります。休符も同じです。休符を待って音楽に乗るためには、休符分も正しく数え、音の鳴る瞬間の時間を計算し理解して音を乗せる必要があります。

乗り遅れまたは早く入りすぎるといことのないように、リズムは細かく細かくカウントする訓練をしておくことが大事だと思います。

この譜面を理解して音を出すという部分にも少し課題があるなと思いました。

リズム、フレーズ、指、音程、音色、音形、ハーモニーと考えることはいっぱいあります。常に頭フル回転で考えながら練習をしておき、本番で脳みそ空っぽになっても音に集中できてアンサンブルができる状態になっていると心が強いです。

あと、今回難しいと感じたもう一つが、「間」の取り方、呼吸の合わせ方です。その「間」やその拍で「時間」が欲しいところに突っ込んでいってしまう人がいるかもしれない、という理由から突っ込まざるを得ないところが出てきてしまいます。私の拙い棒では表現しきれず申し訳ない部分もありました。

空気感を読み、空気感を発するというところのアンサンブルもできるバンドだと思います。これは計算やルールを作ってではできない部分で、音楽の楽しい部分なので、どんどん空気読んで演奏してってください！

これからの練習では意識をして練習することもだいじかと思います。

編集後記

12月です。「●●大賞」的な1年のまとめみたいな賞レースの月でもあります。最近のヒット曲の一つにSNSでバズっ楽曲みたいな感じですよ。聞かたびに思うことがあるんです。「こんなに歌詞が多かったら、吹奏楽にアレンジした時は音符が多いやん。」と。<了>